

令和元年度 宝木中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 「人間尊重の教育を基盤に、知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、心身共に健康で知性と創造性に富み、心情豊かでたくましく社会に生きる人間の育成」
- (2) 具体目標（具体的な生徒像）
- ①気力・体力のあるたくましい生徒（たくましく）
 - ②自ら学びよく考える生徒（さとく）
 - ③心豊かで礼儀正しい生徒（あかるく）
 - ④がまん強く進んで働く生徒（いきいきと）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は ○子どもたちにとって居心地のよい楽しい場所であること
 ○教職員の「生きがい」や「やりがい」を感じる場所であること
 ○保護者、地域の皆様から信頼される場所であること

このように、信頼と心の触れ合いを基盤とした、豊かな人間関係に支えられた**ぬくもりと夢のある学校**づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領や第2次宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特色を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図り、生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
- (3) 生徒理解を基盤として生徒指導の充実を図るとともに、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育を推進し、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳科の充実を図り、生徒一人一人の道徳実践力を高めるとともに、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- (5) 家庭との連携を強化し、健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康に生活していく基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 校内の事務の効率化や簡略化等を図り、生徒に向き合う時間の確保と教職員の負担軽減に努める。
- (8) 児童生徒の9年間の成長を見通した小中一貫教育を推進し、学校園で共通理解を図りながら、宝木地域学校園が目指す心豊かな生徒の育成に努める。
- (9) よき伝統や地域の特色、教職員の創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、魅力ある学校づくり地域協議会を効果的に活用し、生徒の地域行事への協力やボランティア活動を通して、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

[宝木地域学校園教育ビジョン]

テーマ「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指します。

他を思いやる心や規範意識を育み、基本的生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実

4 教育課程編成の方針

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。
- (2) 小中学校の連携を図り、生徒会や各教科の出前授業などの交流を継続する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】○生徒の学力向上を目指し、教員の授業力向上並びに学業指導、キャリア教育の推進
- 【学 習 指 導】○授業のねらいに基づいた振り返りと自主学習ノート等の活用による家庭学習の習慣化
- 【児 童 生 徒 指 導】○自己肯定感や自己有用感を育てるとともに、よりよい人間関係づくりと不登校対策の推進
- 【健康（体力・保健・食・安全）】危険の予測や危機回避能力の育成を図る安全教育や防災教育の充実

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 以上	①グループ活動や話し合い活動などを積極的に取り入れ、生徒が進んで学習に取り組めるような学習活動の工夫をする。 ②特に英語科と数学科では習熟度指導やTT等、個に応じた指導の充実に努める。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。（+7.2） 【次年度の方針】 ①グループ活動や話し合い活動などを積極的に取り入れ、生徒が進んで学習に取り組めるような学習活動の工夫をする。 ②特に英語科と数学科では習熟度別指導やTT等、個に応じた指導の充実に努める。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①道德の授業を通して、教員他の児童生徒との対話や討論などを行うとともに、児童生徒に考えさせる授業を行う。 ②普段の生活の中で、思いやりのある行動を奨励するとともに、帰りの会等で賞賛する。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。（+10.4） 【次年度の方針】 ①道德の授業を通して、自己肯定感が高められるような体験活動を取り入れた授業や資料提示の工夫をしていく。 ②日々の授業や学校行事などで、友達と互いのよさを感じられるような活動を取り入れ、思いやりや協同する心を育てる。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85% 以上	①地域学校園「生活のきまり」に基づき、「挨拶と返事の励行」「素直な感謝や謝罪の表現」「相手の気持ちを考えた行動の実践」を自ら行うことができるよう、小中連携して指導する。 ②ネットトラブル防止教室を、全体及び学年ごとに実施するとともに、保護者会でも毎回情報提供し、理解・協力を得るようにする。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。（+9.3） 【次年度の方針】 ①地域学校園で共有する「生活のきまり」に基づき、「挨拶と返事の励行」「素直な感謝や謝罪の表現」「相手の気持ちを考えた行動の実践」を自ら行うことができるよう、指導を継続していく。 ②ネットトラブル防止に関する指導を、全体及び学年ごとに実施する。また、保護者会の機会を捉えて情報提供し、理解・協力を要請する。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90% 以上	①生徒会主催の「あいさつ運動」や、「小中合同あいさつ運動」を通して、明るく元気にあいさつする習慣を身に付けさせる。 ②全授業、行事等における先言後礼や、「茶道教室」における礼儀作法の指導を通して、まごころを込めたあいさつができる心を育てる。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。（+7.1） 【次年度の方針】 ①生徒会、あるいは小中合同で行う「あいさつ運動」を通して、明るく元気にあいさつする習慣を身に付けさせる。 ②授業・行事等における先言後礼や、「茶道教室」における礼儀作法の指導を通して、まごころを込めてあいさつができるよう指導する。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①学校行事や部活動の目標を立て、最後までやり通すことができるよう支援する。 ②自主学习シートを使用し家庭学習の目標を立て、計画的に学習する習慣を身に付けさせる。	B	【達成状況】 数値目標を達成している。（+5.7） 【次年度の方針】 ①学校行事や部活動を通して最後までやり通す力がつくように適切な目標を設定させ、支援する。 ②家庭学習の目標を設定するために自主学习シートを適時使用し、毎日自主学习を提出させることで計画的に学習する習慣を育成する。

A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①「元気っ子生活習慣」等を活用し、健康の重要性を意識づける ②生徒が自分の判断で避難行動ができるよう、計画的な避難訓練を実施する。	B 【達成状況】 数値指標を達成している。(+15.3) 【次年度の方針】 ①スタンダードダイアリーに掲載されている「元気っ子生活習慣チェック」表を活用し、振り返りをさせながら、健康の重要性を啓発する。 ②事前に必要な知識を教え、生徒が自分の判断で避難行動ができるよう、計画的な避難訓練を実施する。
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①キャリア教育を体系的に学習し、1 年生は「働く人に学ぼう」2 年生は「社会体験学習」3 年生は「進路学習」を通して、多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度の育成を図る。 ②地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動に進んで参加するよう、教室にチラシを掲示したり、その価値を教えたりして生徒に参加を働きかける。	A 【達成状況】 数値指標を達成している。(+5.7) 【次年度の方針】 ①キャリア教育を体系的に学習することで、多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成し、次年度から開始するキャリアパスポートを活用し、学習したことを積み重ねていく過程で振り返りや反省を繰り返すことにより、学習した内容の深化を図る。 ②地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動やボランティア活動に参加するよう、教室へのチラシ掲示や、生徒会からの働きかけを行い、社会貢献を積極的に行う態度を育成する。
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①英語の授業のはじめに、身近なことについて短時間で話し合わせる。 ②ALT との TT の授業において、コミュニケーション活動を強化する。	B 【達成状況】 数値指標を達成している。(+9.0) 【次年度の方針】 ①英語の授業の初めに、指導者が英語で質問したことに答える。また、Small Talk の時間を取り、数分間生徒と指導者で英語でやりとりをする。 ②ALT との TT の授業では、ALT と生徒が直接話す場面を数多く設ける。
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①断郊協歩大会において、大谷資料館や市美術館を見学し、宇都宮の歴史や文化を学ぶ。	A 【達成状況】 数値指標を達成している。(+0.7) 【次年度の方針】 ①断郊協歩大会において、大谷資料館や多気山、市美術館を見学し、宇都宮の歴史や文化を学ぶ。 ②総合的な学習の時間や各教科などの年間指導計画に、宇都宮市と関連付けられる内容を取り入れる準備をする。
A10 生徒は、ICT 機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% 以上	①授業の中で、まとめる、発表する場面等で、ICT 機器を活用させるような機会を増やす。 ②図書室にある関連する資料を準備し、活用させるようにする。	A 【達成状況】 数値指標を達成していない。(-15.3) 【次年度の方針】 ①ICT 機器の活用についての研修を充実させ、活用を活性化する。 ②実物投影機やプロジェクターを持ち出ししやすい場所に設置変更し、ICT 機器を活用する機会を増やす。 ③図書室にある授業に関連する資料を、意識的に活用する。

目 指 す 学 校 の 姿	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①宝木荘の高齢者を体育祭に招き、一緒に活動する場を設定する。 ②福祉委員が宝木荘に訪問し、高齢者の方と活動の場を設定する。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(+10.4) 【次年度の方針】 ①福祉委員会を中心に、ボランティアを募り、宝木荘との交流を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てる。 ②活動の様子を学校たより、HP等活用して情報を発信する。
	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①「つかいたい言葉」「つかわせたくない言葉」を生徒自ら考えさせ、人権意識の高まりを促す。 ②環境ISOを通して資源のリサイクルやエネルギーの節約を生徒会活動を中心として行わせる。	A	【達成状況】 数値指標を達成していない。(-11.3) 【次年度の方針】 ①環境ISOを通して、資源のリサイクルやエネルギーの節約を、生徒会活動として行う。 ②少年消防安全委員会の活動として、移動教室時における消灯や冷暖房の電源断を行わせたり、現況を生徒会朝会等で発表させたりして、持続可能な社会についての関心を高める。
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上	①教育相談部会及び校内支援委員会で、個別に具体的な支援を協議し実践していく。 ②個に応じた支援を、かがやきルーム指導員と学級担任や教科担任が連携して行う。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(+16.7) 【次年度の方針】 ①毎週のエデュケーション部会と校内支援委員会(年3回)の実施により、具体的な支援の協議と実践を行う。 ②特別な支援を必要とする生徒が、教育的資源を活用できるように会議を開き(特別支援委員会)方向性を決めて、生徒の支援を行う。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上	①いじめ根絶に向けた授業を、道徳、学活の年間指導計画に位置付け、年4回実施する。 ②「いじめの調査」を年4回(5, 9, 12, 2月)実施し、早期発見・早期対応に努める。 ③「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(+7.4) 【次年度の方針】 ①いじめ根絶に向けた授業を、道徳・学活の年間指導計画に位置付け、年4回実施する。 ②「いじめの調査」を年4回(5, 9, 12, 2月)実施し、早期発見・早期対応に努める。 ③「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上	①挨拶、励まし、賞賛等言葉かけを行ったり、生徒が活躍できる場面を設定するなど、自分の居場所となるような温かい雰囲気を作る。 ②生徒理解を深めるために、生活日誌の活用と、日常的な生徒の観察を行う。 ③意図的な教育相談を実施する。	A	【達成状況】 数値指標を達成している。(+16.7) 【次年度の方針】 ①挨拶、励まし、賞賛等言葉かけを行ったり、生徒が活躍できる場面を設定したりするなど、自分の居場所となるような温かい雰囲気を作る。 ②生徒理解を深めるために、スタンダードダイアリーの活用と、日常的な生徒の観察を行う。 ③意図的な教育相談を実施するとともに、配慮生徒への支援を行う。(チーム対応)
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答50%以上	①該当生徒保護者と面談し、はばたき教室への通級や、日本語指導ボランティアの派遣、日本語指導に係る教材の準備を行う。 ②個別指導計画を作成し、日本語ボランティアと連携して指導に当たる。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(+46.7) 【次年度の方針】 ①該当生徒保護者と面談し、個に応じた支援をチームで検討し、実践する。 ②日本語指導ボランティアを含めたチームで個別の指導計画を作成し、指導に当たる。

A 17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①体育祭や文化祭などの学校行事で、リーダーの育成を図り、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。 ②生徒会を中心としたあいさつ運動を活性化させる。	【達成状況】 数値指標を達成している。(+3.8) 【次年度の方針】 ①各種学校行事において、生徒会を中心に、生徒の主体的活動を積極的に取り入れ、リーダーの育成を図るとともに、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。
A 18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①授業で本時のねらいの提示と、生徒各自の振り返りを確実に実施する。 ②一人一授業の実施を徹底し、グループ毎に参観し意見交換会を行うなど方法を工夫して授業力の向上を図る。	【達成状況】 数値指標を達成している。(+7.4) 【次年度の方針】 ①授業で本時のねらいの提示と、生徒各自の振り返りを確実に実施する。 ②一人一授業の実施を徹底し、グループごとに参観し意見交換会を行うなど方法を工夫して授業力向上を図る。
A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①学校図書館司書を活用し、学級活動や総合的な学習等における調べ学習で本の選定をするなど助言を多く取り入れる。 ②学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、学校内の環境整備の充実を図る。 ③教育相談及び生徒指導上の問題解決のためのケース会議を重視し、組織的な行動を素早くできるようにする。 ④特別支援学級担当教員及び、SC、SCMとの情報交換を密にし、連携を円滑にする。	【達成状況】 数値指標を達成していない。(-3.3) 【次年度の方針】 ①学級活動や総合的な学習等における調べ学習における本の選定に関する情報などを学校図書館司書教諭や栄養教諭等と連携し生徒の学習指導を行う。 ②教育相談及び生徒指導会議で今後の指導の手立てや方針を確立し、組織的な対応に努める。特別支援コーディネーターを中心に、SC、SCM、との連携を密にする。
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教員の肯定的回答 80%以上	①身の回りの整理整頓をし、機能的な環境を作る。 ②文書保管場所を設定し、データを誰もが分かるようにする。 ③会議の効率化を図るために、要点のみ発表するようにする。	【達成状況】 数値指標を達成していない。(-3.3) 【次年度の方針】 ①仕事の効率化のため各教科の物品や行事等で使用するものの保管場所を整理し機能的な環境をつくる。 ②文書保管場所を設定しデータの保存場所等整理する。 ③会議の効率化のため、発表時間の設定や早めの起案を心掛け、要点のみの発表を行う。
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	①地域学校園各部会の取り組みについて、部会報告及び地域学校園だよりに掲載し、全職員に配布するとともに地域学校園掲示板に掲示する。	【達成状況】 数値指標を達成している。(+1.2) 【次年度の方針】 ①地域学校園各部会の取り組みについて、部会報告及び地域学校園だよりに掲載し、全職員に配布するとともに地域学校園掲示板に掲示する。 ②生活面学習面での連携をとり、小学校での学習と中学校での学習がつながっていくように取り組んでいく。【あいさつ運動、入学記念イベント、家庭学習等】

本校の特色・課題等	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①茶道教室を通して礼儀作法の学習をおこなう。 ②断郊協歩大会を行い郷土の自然や風景に接し、これらを末永く大切にしようとする心を育てる。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(＋13.3) 【次年度の方針】 ①茶道教室を通して礼儀作法の学習を行う。 ②断郊協歩大会を行い郷土の自然や風景に接し、これらを末永く大切にしようとする心を育てる。
	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①「理科における博物館との連携授業」, 「高校との放課後の説明会」, 「茶道教室」, 「社会人に学ぶ」など、地域の人材を活用して行う。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(＋13.3) 【次年度の方針】 ①「理科における博物館との連携授業」, 「高校との放課後の説明会」, 「茶道教室」, 「働く人に学ぼう」など、地域の人材を活用して行う。 ②学力向上のために地域の教育力を生かした「放課後学習」や農作物育成のための畝立てなど地域の人材に協力を求め、学校教育を推進する。
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①毎月の安全点検を確実に実施する。 ②学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、学校内の環境整備の充実を図る	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(＋16.7) 【次年度の方針】 ①毎月の安全点検を確実に実施し、学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、安全性の高い環境整備に努める。
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①授業等で利用しやすいように、ICT機器の適切な管理を行う。 ②図書選定委員会を開き、授業、調べ学習に必要な図書を整備する。	B	【達成状況】 数値指標を達成している。(＋3.7) 【次年度の方針】 ①授業等で利用しやすいように、ICT機器の適切な管理を行う。 ②学校図書館司書教諭と各教科担当者連携し、各教科に必要な図書を整備する。
	B1 生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①家庭学習の手引きをオリエンテーションや保護者会、三者懇談で活用する。 ②自主学習シートの形式を工夫し、ねらいを持って取り組めるように継続して指導する。 ③自主学習ノートを点検し、家庭学習を啓発していく。	A	【達成状況】 数値指標を達成している。(＋3.2) 【次年度の方針】 ①家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションや三者懇談で学級担任から、保護者会等で学習係から説明する。 ②自主学習ノートの形式を工夫し、ねらいを持って取り組めるように継続して指導する。 ③自主学習ノートを点検し、家庭学習を啓発していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・市全体と本校を比較してみると、生徒の肯定的回答は21中13の質問において市全体の値を上回っている。また、昨年度との比較は質問内容が大きく変わったこともあり、昨年度の本校の結果と単純に比較できないものもあるが、生徒が明るく落ち着いて、充実した生活が深まってきたといえる。これは教職員の資質向上を図るために、教科研修・道徳教育の研修・生徒理解のための研修等や本評価書などのPDCAが機能していると思われる。今後は、不登校対策や特別支援教育等の充実を図るとともに、さらに学力向上に向けて研究・工夫を重ねていく。

・「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している」では、わずかであるが市の肯定的回答割合を下回っており、今以

上、授業における効果的な活用方法を研究し、生徒に活用させていきたい。

・「生徒は、持続可能な社会について、関心を持っている」の肯定的回答割合が他の項目と比べ、68.7%と低くなっている。人類が将来の世代にわたり豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題について取り上げ、関心を持たせていきたい。

・「生徒は、思いやりの心をもっている」「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている」「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」の肯定的回答割合が市の肯定的回答割合を上回っている。この落ち着いた生活の様子が、日々の生活を充実させ、学習習慣にも良い影響を与えていると思われる。しかし、「生徒は、目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組んでいる」の項目では、わずかであるが市の肯定的回答割合を下回っている。学習や生活面で粘り強く活動できるよう、支援を行っていきたい。

・「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている」の項目で、生徒の肯定的回答割合が市の肯定的回答割合を上回っている。学校全体での指導が生徒に理解され、浸透していることが分かる。今後ともいじめのない、安心して生活できる学校づくりに努める。

7 学校関係者評価

- ・質問項目の生徒の肯定的回答が21中13の質問において市全体の値を上回っていること、他の項目にしても良い結果になっている。
- ・学校の取り組みや家庭での協力がよく見て取れる。今後ともしっかりと取り組んでほしい。
- ・地域協議会として協力できる点は協力していきたい。
- ・「学校たより」の配布やホームページをはじめ、良くなった点をいろいろな場面でアピールすることが必要である。
- ・質問項目の中に分かりづらい質問（児童生徒は、「持続可能な社会」について、関心を持っている）がある。アンケートはわかりやすい質問にすべきと思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・本校が重点的に取り組んでいる、家庭学習の習慣化、自己肯定感・自己有用感を高める活動に関しては、成果が表れてきている。これは、教職員の資質向上に向けて校内研修等の充実を図っていることや生徒一人一人と話し合う時間の確保、日々の活動や学校行事の充実を図っていることなどが考えられる。今後は、現在取り組んでいることをしっかりと継続するとともに、学力向上に向けての取り組みをさらに加速させていく。

・地域と共に歩む学校づくりを進めるために、学校での様子を広く発信し「家庭・地域」との連携を強めていく。

○地域学校園での生徒に夢や希望を持たせ、学習や運動に積極的に取り組む生徒を育てていくなど、今後とも小中でよく連携し9年間を見据えた指導を行う。